

きょうと 京図



京都市図書館情報誌

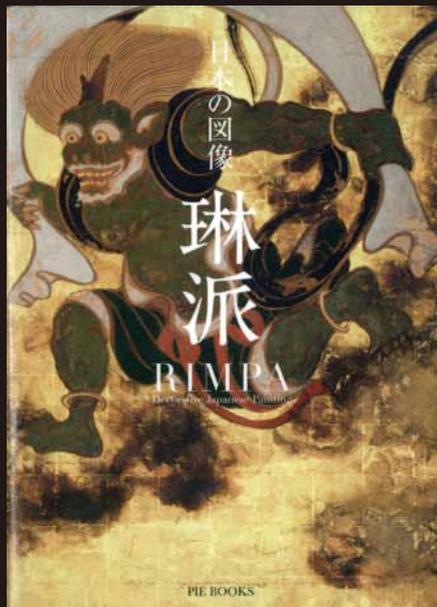
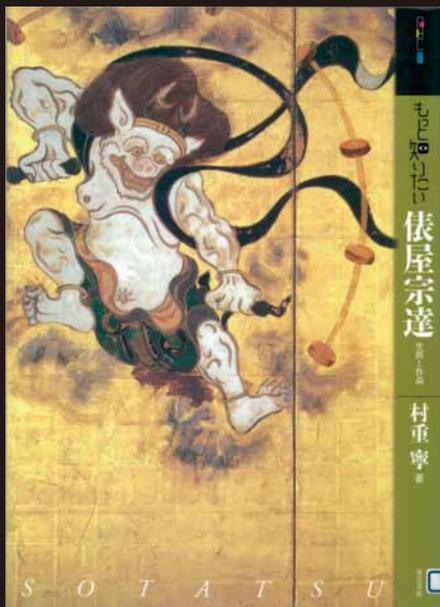
関西から



本で広がる世界 本でふくらむ夢

平成27年8月発行

ものがたり



琳派 400年

(左:『もっと知りたい俵屋宗達』東京美術, 右:『日本の図像琳派』パイ インターナショナル)

琳派を学んで
出かけよう



尾形乾山作「色絵角皿」
中京区和久屋町(高倉小学校)出土

画像提供:(公財)京都市埋蔵文化財研究所

目次

- ② ③ 特集 …………… 琳派400年 琳派を学んで出かけよう
- ④ 連載 …………… ご存じですか? 使って便利な京都市図書館
- ⑤ 連載 …………… 図書館の本棚から司書がすすめるこの1冊
- ⑥ 図書館の特色紹介 …… 岩倉図書館
- ⑦ 図書館小特集 …………… レファレンスこぼれ話
- ⑧ 利用者の声 …………… おもしろかった本

あなたの好奇心に応える

vol.38

琳派400年

琳派を学んで出かけよう!

琳派は本阿弥光悦、俵屋宗達から始まり、現代まで続く造形芸術の系譜です。師弟関係によって受け継がれたものではなく、先人の作品に学び、それぞれが個性を発揮することによって発展しました。今年は光悦が徳川家康から鷹峯の地を拝領してから400年。日本各地で琳派に関する催しが行われています。今回は、京都市内で琳派の代表的な作品に触れることのできる場所を紹介します。

京都アスニー2階に琳派の情報コーナーを設置しました。

たわら や そう たつ 俵屋宗達編

俵屋宗達は多くの作品を残していますが、生没年などが不明で、謎の多い人物です。

・「風神雷神図」 俵屋宗達筆

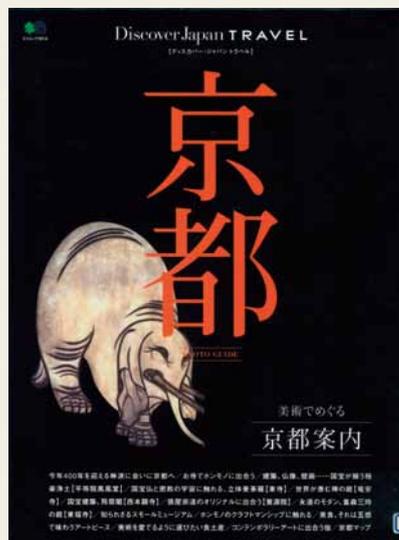
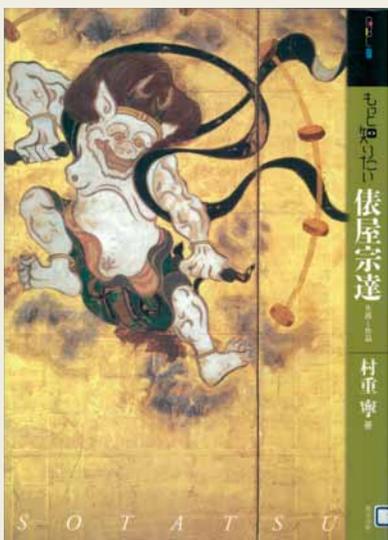
国宝 建仁寺 (東山区)

—建仁寺の大書院では、精密な複製品が飾られています。

・「杉戸絵 白象図」 俵屋宗達筆

重要文化財 養源院 (東山区)

—養源院の本堂で見ることができます。



左:『もっと知りたい俵屋宗達』

村重寧 / 著 東京美術

謎に包まれた宗達の生涯が様々な角度から紹介されています。

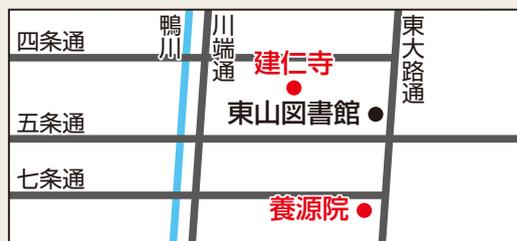
右:『日本の図像琳派』

パイ インターナショナル

現代までの優れた琳派の作品が1冊にまとめられています。

『京都 美術でめぐる京都案内』 樞出版社

白象図のほかにも養源院の杉戸絵と襖絵が見られます。



『日本画名作から読み解く技法の謎』

東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室 / 監修 世界文化社

国宝などの名作から、日本画に使う画材について、使い方や技法を紹介。尾形光琳作「檜楓図屏風」を取り上げた部分では、背景の金箔がどのような効果をもたらすのかが分かります。

琳派の特徴とされる金箔を用いる装飾の方法や、「風神雷神図」の雲の部分に用いられる垂らし込みの技法が写真で詳しく解説されているので、絵を見る楽しみが増えるのではないのでしょうか。

ほんあみこうえつ 本阿弥光悦編

本阿弥光悦は大変多才な人物で、陶芸や漆工芸だけでなく、書の達人でもあり、寛永の三筆の一人と称されています。また造園も手掛けており、鑑賞することができます。

ほんぼうじ 本法寺(上京区)

「巴の庭」本阿弥光悦作(国指定名勝)

本阿弥家ゆかりの寺院で、祖父の代からの帰依により、寺が現在の地に移転した際は、光悦も父光二とともに私財を投じて完成に尽力しました。

書院の東側に位置する「巴の庭」は、築山の形に特徴があり、石組によって見事に滝の流れが表現されています。

宝物館では縦10メートルにも及ぶ長谷川等伯筆「仏涅槃図」(国指定重要文化財)の原寸大複製を見ることができます。



光悦作 蹲踞



本法寺 巴の庭



『中根金作京都名庭百選』

中根金作/著 淡交社

長年造園に携わった著者が京都の名庭を解説する本です。「巴の庭」の表現しているものは何なのか、どのあたりに注目すべきなのかが詳しく解説されています。

この本以外でも、『新修京都叢書第九巻』都林泉名勝図会では、「巴の庭」の江戸時代の様子を挿絵で見ることができます。光悦作の蹲踞もちゃんと描かれています。



おがたけんざん 尾形乾山編

尾形乾山は尾形光琳の弟で、本阿弥光悦に影響を受け、野々村仁清に作陶を学んだといわれています。

本法寺にほど近い京都市考古資料館(上京区)では、京都市内の遺跡から発掘した陶器の作品が展示されます。



『乾山焼入門』

リチャード・ウィルソン/著 雄山閣出版

世界各地に所蔵される乾山作品を実際に足を運んで調査し、20年以上を研究に費やした著者が、これまでの成果をまとめた本です。図版が多く、わかりやすいです。

(乾山焼:尾形乾山が創始したもので、様々な陶法を研究し、デザインに琳派の様式や和歌・画賛の文字などを取り入れ、多彩な技法を使い分けて作られたやきもの)



尾形乾山作『色絵角皿』 画像提供:(公財)京都市埋蔵文化財研究所

制作年代は18世紀初め頃で、天明8年(1788)の大火で被災して廃棄されたと推定されています。出土場所の高倉小学校(中京区)は、江戸時代の松山(愛媛県)松平家京都藩邸でした。大きさは一辺約16センチメートル、裏面に「乾山」銘があり、形態・絵付けに乾山の作品の特徴を備えています。

「出土した仁清・乾山」

平成27年9月26日(土)~11月1日(日)

京都市考古資料館1階 速報展コーナー

9:00~16:30 月曜日休館 無料

ご存知ですか?

使って便利♪京都市図書館



京都市図書館では、全館で約190万点の資料を所蔵しています。

いったいどんな資料があるのでしょうか?

小説! 旅行のガイドブック! 料理の本! 絵本!

百科事典や辞書 …それから最近は、CDやDVDもあるらしい?

公共図書館は、あなたのお役に立つ情報の宝庫です。

パッとイメージできる物以外にも、

意外に知られていない資料がたくさんあります。

雑誌は、約470タイトル!

「AERA」などの週刊誌や「VERY」などのファッション誌、ビジネス関連や育児誌はもちろん、「アニメージュ」「俳句」「ラグビーマガジン」などの趣味やスポーツの雑誌、そして「新建築」「ジュリスト」のような少し専門的な雑誌など、意外なタイトルも豊富に所蔵しています。「こどものとも」や「おひさま」など、子どもさんと一緒に楽しんでいただける雑誌もありますよ。

最新号は所蔵している図書館内での閲覧のみですが、バックナンバーは貸出も出来ます。京都市の図書館どうしなら、簡単に取り寄せも出来ますので、気になる雑誌は一度探してみてください!



細かい字が読みづらくなっても平気! 大活字図書

視力の低下で、大好きだった読書が辛くなった…。そんな方に知っていただきたいのが「大活字図書」。通常の活字よりも2~3倍ほどの大きな文字で、読みやすさ抜群! 話題になった小説も、大活字化されているものがありますので、ぜひご利用ください。

小さなお子さんに大人気の紙芝居

絵本とはまた違った世界観のある「紙芝居」は、子どもさんに大人気。またご年配の方にも、昔を懐かしんで喜んでいただいています。多くの図書館が紙芝居の舞台の貸出も行っておりますので、地藏盆など地域行事でのご利用や、ご家庭でも気軽に楽しんでください。(舞台の貸出については、台数により限りがありますので、最寄りの図書館にお尋ねください)



貸出用の紙芝居舞台です!

行政資料もたくさんあります

ご自宅に届く「市民しんぶん」や「京都市防災マップ」など、「うっかりどこかになくしてしまったな…」そんな時も、図書館でご覧いただけます! 公共機関や観光施設などが出している広報誌やパンフレットなども、広く収集していますので、知りたい時にはまず図書館へ!

ほかにも「住宅地図」などの便利な資料や、地域に関連した資料など、各館で特色溢れる資料を収集しています。右京中央図書館では、調べものの中心的役割を担う図書館として、特に京都に関連した資料を多く所蔵しています。役立つ資料、意外な発見を求めて、幅広い図書館利用をお待ちしております!

図書館の本棚から

司書がすすめる

この1冊

『大きな音が聞こえるか』

600ページもある長編ですが、本の厚みにひるまず、読み始めてください。押し寄せる波のような展開にのみこまれ、一気に読み終えること間違いなし!



坂木 司 / 著
株式会社KADOKAWA

一言でいうと、「サーフィンが唯一の趣味である高校生が、ポロロッカの波乗りにアマゾンまで行く」という話です。

「自分はサーフィンにも興味がないし、青春小説のような甘っちょろいものは読みたくない」と思われたあなたにも、まずは読んでみてくださいとお勧めします。主人公は高校生男子ですが、あなたが高校生でなくても男子でなくても、まるで主人公と青春を味わっているような気持ちになります。

“泳”は、帰宅部で、仲間内では空気を読んで波風立てないように過ごし、経済的にも恵まれています。楽しいことをしたいけど何をどうすればよいか分からないという焦りや、「なりたいたypesの大人がいない」という将来への不安もあり、ゆっくりと退屈な日々を過ごしています。

ところが、「ポロロッカに乗るためにアマゾンへ行く!」と決めてからは、ものすごい勢いで話が進んでいきます。お金を貯めるためにアルバイトを始め、そこで知り合った人々からの刺激を受け、ブラジルに渡ってからは、思いもよらない経験をします。ポロロッカでサーフィンをするまでの、様々なできごとや心の動きが包み隠さず描かれているので、読み終えるころには自分もアマゾンまで行って冒険をしてきた気分になっています。

主人公が通う高校の先生の「若いっていいよな」という言葉は「口に出すと滑稽」なのですが、そう思わずにはいられないのです。

ポロロッカとは(本文より)

…もの凄い勢いで河に降りそそいだ雨が、海に出ようとするところを逆流してくる海水に阻まれる。そのぶつかり合いによって生まれるパワーこそが、河を何百キロもさかのぼるほどの波を生み出すのだという。

岩倉図書館

岩倉図書館のマスコットが
職員さんにインタビュー!



「岩倉図書館は、今年で開館20年だそうですね。」

館内では開館した20年前の出来事や、ベストセラーなどを展示。6月に行った記念講演会では、教授で歌人の永田和宏さんの「ことばの力」と題した講演会を開催しました。



「とてもすてきな建物ですが…。」

岩倉らしい瓦葺の屋根、フローリングの床、大きな窓、吹き抜けなど、とてもきれいな建物です。晴れた日にはテラスで読書もできますよ。



「人気のある本は分かりやすく集められていますね。」

本のもり、赤ちゃん絵本、育児、紙芝居、鉄道、京都・岩倉関連、大活字、多読英語、ティーンズ（ヤングアダルト）、時代文庫、マンガ等を特別に集めた書架を作っています。



「多読英語」



「鉄道」



「学校との連携も行っているようですが…。」

幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学と連携。学校に向いているブックトークや団体貸出、中学生、高校生、大学生が参加するビブリオバトル、大学の学生による天体教室や落語会も行っています。



「天体教室」



「ブックトーク」



「たくさんの行事が行われているそうですね。」

地元の方々のご協力も得て、毎月2回実施のあちゃんタイム、えいごタイム。防災のお話、楽しい理科実験教室、人形劇、東日本大震災取材報告会、書道の楽書パフォーマンスなどを行い、多くの方が来館されています。



「図書館の近くにはどんな名所がありますか。」

応仁の乱を避けて岩倉に移された実相院。客殿の滝ノ間の床に映る床もみじでも有名です。



「最後に館長さんからひとことお願いします。」

小さな図書館ですが、みんなにやさしい心地よい空間づくりを目指しています。ご来館お待ちしております。

岩倉図書館
左京区岩倉下在地町16
電話 702-8510

レファレンス こぼれ話



～あなたの知りたいにおこたえます!～

レファレンスとは、みなさんからの質問・相談を受けて調べものに必要な資料を探すお手伝いをする事です。このコーナーでは、京都市図書館の調べものの中心的役割を担う右京中央図書館の司書がレファレンスについてのエピソードを紹介します。

各図書館のカウンター窓口・電話・郵便、京都に関することならホームページ経由でも受け付けていますので、お気軽にレファレンスサービスをご利用ください。

おどい 御土居に迫る

ある日の午後、郷土コーナーで本を返却しているときのこと…「すみません、御土居に関する本ってどこにあるか教えてくれへんか?」と年配の男性に声をかけられました。御土居? オドイ? あれは確か洛中を囲むように作られた土の山…と頭の中の引き出しを開けつつ、レファレンスデスクに案内しました。男性に詳しく聞いてみると、「御土居について調べていて、かつてあった御土居の位置が記された地図を探している。」とのこと。

まずは御土居に関する資料を調べると、『御土居堀ものがたり』は残念ながら貸出中。この本は予約されることになり、続いて京都の古い地図にあたってみました。地図といっても現在のようなものではなく、絵図といわれるものになります。『日本の古地図4』を見ると“古地図

にみる御土居”という項があり、『洛中絵図』に載っていることがわかったため、さっそく男性に紹介しました。御土居が完成して約四十年後に作られた『洛中絵図』では、御土居の一部分はすでに失われているものの、大部分の位置が描かれていました。

改めて確認すると、御土居は豊臣秀吉による京都の都市改造の一環で、天正19年(1591)に築かれた高さ約3m、長さ約23kmの土塁。それが東は鴨川、西は紙屋川、北は鷹峯、南は九条に沿ってあったというんですから、今では想像もつかない光景です。

その後男性は、館内で熱心に本を見られ、お帰りの際には「新たな発見もあり、参考になったわ。ありがとう。」と言葉を残し、図書館を後にされました。

数日後、あるテレビ番組を見てみると、今も一部残る鷹峯の御土居を散策している映像が流れているではありませんか。やはりこのようなものが京都のまちなかを囲むようにあったとは、驚くばかりです。

みなさんの身近なところにも、長く刻まれた歴史がひそかに残っているかもしれませんね。



(参考資料)

- ・『御土居堀ものがたり』中村 武生／著 京都新聞出版センター
- ・『日本の古地図 4 京都』講談社
- ・『洛中絵図』臨川書店

◆京都市立北野中学校 安藤 優衣さん



『僕とおじいちゃんと魔法の塔』

香月日輪／著 角川書店

この本の主人公は、小学6年生の陣内龍神という少年で、通知表には毎回「おとなしくて、大変いい子です。」と書いてあるような子です。そんな龍神が、ある出来事をきっかけに、親元を離れ、1人(?)である塔で暮らすことになり、新たな生活が始まります。塔の秘密や、個性あふれる新しい友達、成長した龍神の姿から目がはなせません。



「おもしろかった本」

毎年、中学校の生徒さん達が「生き方探究チャレンジ体験」として図書の配架や配送、おはなし会などの行事に参加され、図書館の仕事を体験しています。

今号は、中央図書館で職場体験をされた生徒さんからの寄稿です。

◆京都市立北野中学校 山中 温葉さん



『図書館戦争』

有川浩／著 角川書店

“図書館戦争”。大抵の人はこのタイトルを聞いて戦闘もので、恐ろしいと思うだろう。ましてや、コメディと想像する人がいるはずがない。この本は、本が自由に読めなくなった時代に、本をめぐる政府と図書隊の争いを描いている。激しい戦いの合間には恋も見え隠れするラブコメディだ。天然バカ・郁とまじめな上司・堂上の口ゲンカは爆笑で、腹筋崩壊間違いナシだ!あなたが読みたい本が読めなくなったら、誰が守ってくれるだろうか。

◆京都市立上京中学校 小泉 葉月さん



『サクリフェイス』

近藤史恵／著 新潮社

サクリフェイスは自転車ロードレースとそれにまつわるミステリーです。主人公はプロのロードレースチームに所属していて、勝利のためにエースに尽くすアシスタントの役割でした。しかしレース中にチームのエースが死んでしまうことから、ミステリーが始まります。前半はロードレースの紹介を含めたおもしろい話ですが、後半はミステリーに変わり、衝撃的で感動するラストが待っているという、一つの作品なのに色々つまったお話になっていて、オススメです。

◆京都市立四条中学校 福井 友佑さん



『Nのために』

湊かなえ／著 双葉社

私は『Nのために』という作品が大好きです。この本は高層マンション「スカイロース」の一室で、そこに住む野口夫妻の変死体が発見されました。現場に居合わせたのは、20代の4人の男女がそれぞれの証言で、驚くべき真実が明らかになっていく物語です。

この本は、切なさに満ちていて、純愛でミステリーな本です。なぜ夫妻が死んでいたのか、それぞれが想いを寄せているのでぜひ読んでみてください。

◆京都市立四条中学校 田中 敦也さん



『14歳からの哲学』

池田晶子／著 トランスビュー

僕がおすすめる本は『14歳からの哲学』です。この本は物語ではありません。でも、とてもためになる本です。大人になるためには絶対読まなければならない本だと思います。その理由は、何気なく使っている言葉でも、これにはとつても深く書かれていて、これを読むと生き方が変わるからです。僕の心に一番響いたのは、大事なことは自分が「知りたい」という気持ちを強く持つこと。その言葉です。ぜひ読んでください!!

京図ものがたり vol.38

発行
平成27年8月



QRコード

編集・発行

(公財)京都市生涯学習振興財団 財団本部総務課企画係
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2
TEL 075-802-3141

ホームページ <http://www2.kyotocitylib.jp/>

携帯サイト <http://www.kyotocitylib.jp/i/>



伏見中央図書館 琳派関連図書展示コーナー

編集◆集◆後◆記
琳派400年を記念して様々なイベントが企画されているので、出かける楽しみが増えてうれしいです。特集記事もぜひ参考にさせていただきます。(O)

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
『子どもと共に育む京都市民憲章』を実践しましょう!



地球環境を守るため、できる限り市バス・地下鉄等をご利用ください。